



図1 能登半島北岸沖の活断層と6月19日の地震の震央(青星)。基図は、井上・岡村(2010)を一部改変。震源位置は防災科学技術研究所 Hi-net, 気象庁, 東京大学, 京都大学の各機関の地震観測網で得られた地震波形データと, 気象庁一元化処理検測値を使用し, hypoDDにより決定したものである。参考に, 気象庁一元化カタログによる2007年3月25日能登半島地震(M6.9)と2021年9月16日の地震(M5.1)の震央を緑星, 赤星で示す。